



地域連携コミュニティ再生講座 全体フォーラム報告書

みんなで「つながり」をつくる 2010

はじめに

地域連携コミュニティ再生講座もスタートして4年が経ちました。これまでどちらかと言うと頭を使った企画が多かったのですが、今回は初めて連携に向けて身体を動かし行動しました。ここまで到達するのに時間がかかったかもしれませんが、この意味はとてつもなく大きいことであったと確信しております。本書はその行動した今回の『地域連携コミュニティ再生講座』の報告書です。参加された方々にとっては言葉での記録はさほど重要ではないかもしれませんが、その時感じた感覚を思い出すきっかけとして本書を利用いただければと思います。その他に、あるいは参加されていない方にとっては、3年の積み重ねの上にある今回のアクション、そして今後が続いていく一連の流れを感じていただければと思います。

NPOコンカリーニョ理事 遠藤 淳

目次

はじめに 目次 本書の見方	ご当地訪問 ツアー 石狩	ご当地訪問 ツアー 江別	当日プログラム
1	2	3	4
参加団体 紹介	ご当地訪問 ツアー 札幌	ご当地訪問 ツアー 北広島	これまでの あゆみ
5	6	7	8
各団体の 活動	参加者の 感想	ご当地訪問 ツアー 恵庭	ご当地訪問 ツアー 千歳
9	10	11	12
講演会	パネル ディスカッション	合宿 ミーティング	さいごに
13	14	15	16

本書の見方

今回の報告書では若干ページの順序に違和感を覚えられるかもしれません。この報告書は冊子の体裁をとってはおりますが、目次に示している順番にページを並べますと一枚の大きな地図（ルートマップ）になるように作成しております。1枚の大きな地図で眺めますと一目でダイナミックに当日のツアーの雰囲気が感じられるかと思います。

ご当地訪問ツアー

石狩



もともとは公立図書館の分館であった。閉鎖が決まったのだが、市民の強い声で住民の自主運営で存続させることとなり、NPOひとまちつなぎ石狩が運営している。図書の貸し出しの他、市民活動団体のサポートや各種講座の企画を行っている。ここではコーヒーを飲むこともでき、近所の人たちもあつまってくる。

石狩市市民活動情報センターぽぽらーと

石狩市花川北3条2丁目 花川北コミュニティセンター内
Tel:0133-77-7070 Fax:0133-77-7071
開館時間:午前10時～午後6時 休館日:月曜(祝日の場合は翌日)12月31～1月5日



石狩

地域食堂 きずな

石狩市花川南4条4丁目66
Tel&Fax 0133-77-6393
営業時間 午前11時～午後4時



地域の人が集まる場として作られた食堂で住宅街の真ん中にある。開店するまで勉強会などを繰り返し2007年にオープンした。住宅を改装したそのつくりは家庭的なぬくもりのある素敵な空間である。特に庭に造られたオープンデッキはとても気持ちがいい。調理人の確保が課題となる中『1dayシェフ』というユニークな仕組みで解決。日替わりで近所の主婦やOLが担当する。するとシェフが客を連れてくる。そして新たなつながりが生まれる。

食事の他、野菜の販売や、弁当の受注なども行っている。

参加者からのコメント

市長もお弁当を買ってくれる、食べに来てくれると、行政が市民活動を応援するのが日常の姿になっていることが、素晴らしいと思いました。石狩は、頭がよくて品が良くて、センスも良い美しい女性たちが元気なまちだと、思いました。

ご当地訪問ツアー

江別

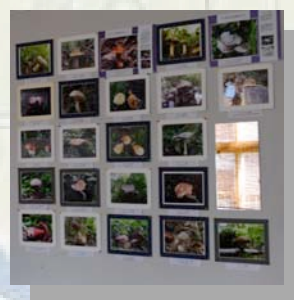


参加者からのコメント

手弁当でつくったセンター、手弁当で運営しているセンターと、それだけでもすごいと思うのですが、さらにまち検定の実施をするなんて！
本当に江別でも1日は24時間なのでしょうか・・・？



使われなくなった消防署を改修したユニークな施設である。市民活動団体間の交流促進事業や情報提供などの市民活動サポートを行っている。パソコンや長尺の横断幕などにも対応した大型プリンターも利用できる。利用者は市民団体に限らず、一般の人も結構多いとのこと。2006年オープン当時から利用者は右肩上がりが増え続け、最初は400人/月程度だったのが今では4倍の1600人/月程度まで増えている。2階には大きな会議室もあり、ここで各種イベントや展示会なども開かれる。



江別市民活動センター・あい

江別市野幌町30番地1
Tel 011-374-1460 Fax 011-374-1461
開館時間 午前9時～午後9時(土日祝 午前10時～午後6時)
休館日 年末年始 その他(館内整理等)

江別

3

宮崎農場

当日プログラム

本プログラムは毎年行われている『地域連携コミュニティ再生講座・全体フォーラム』と千歳ミナクルの自主事業『市民活動講座まちづくりフォーラム』を組み合わせで作られたものです。

本プログラムのうち、千歳での『まちづくりフォーラム』はミナクルの自主事業となり、その他は『地域連携コミュニティ再生講座』の範囲となります。また『地域連携コミュニティ再生講座』のうち、合宿以外は財団法人北海道地域活動振興協会からの助成を受けて行われた。

開催日 : 2010年10月16日（土）17日（日）
ツアー参加者 : 参加各団体から計17名
まちづくりフォーラム : ツアー参加者＋一般参加者 約40名

10月16日（土）

08:50 石狩市市民活動情報センター ぼぼらーと 集合
09:00 石狩市市民活動情報センター ぼぼらーと 視察
09:15 地域食堂 きづな 視察
09:30 札幌へ移動（移動距離16km）
10:20 あけぼのアート&コミュニティセンター 視察
10:50 江別へ移動（移動距離19km）
11:40 江別市市民活動センター・あい 視察
12:10 北広島へ移動（移動距離14km）
12:40 北広島ITステーション 視察
13:10 恵庭へ移動（移動距離13km）
13:40 えにわ市民プラザ・アイル 視察
14:25 千歳へ移動（移動距離10km）
14:50 千歳到着
15:30 まちづくりフォーラム 講演会（講演会の中で千歳ミナクルの視察）
16:30 休憩
16:45 まちづくりフォーラム パネルディスカッション
18:00 まちづくりフォーラム終了
18:30 支笏湖へ移動
19:00 支笏湖ユースホテル到着
20:00 夕食
21:00 懇親会

10月17日（日）

07:00 朝食
09:00 ミーティング
10:00 全プログラム終了

参加団体紹介

NPO法人ひとまちつなぎ石狩

市民活動に関する相談や情報収集、情報発信作業などを中心に、市民への活動支援を行う。また、地産地消事業の促進や文化継承事業、他団体や事業者と協働しての事業などのまちづくり事業を行う。

NPO法人えべつ協働ねっとわーく

市民活動等の推進拠点となる『場』の設置・運営をはじめ、様々な情報を積極的に受発信し、多くの活動団体や市民、企業、行政と連携を図り相互のネットワーク作りを行うことにより、活発な市民活動を生み出し、江別の地域文化や協働のまちづくりを育むことを目的とする。＝市民活動中間支援センターの設置・運営

財団法人

北海道地域活動振興協会

北海道内でまちづくりや地域活動をするNPOなどの市民団体との連携や支援を行っている。本講座のみならず、ボランティア情報発信、国際交流、人材育成なども行っている。

NPO法人コンカリーニョ

札幌琴似八軒地域の劇場を核として、芸術文化活動や地域活動に関わっている人や団体と幅広く連携しながら、芸術文化の施行を図り、また芸術文化に関する事業をコミュニティ形成や教育・福祉に役立てることを目的とする。

NPO法人

北広島ITネットワーク

「デジタルデバйд」を解消し、市民がIT革命の利益を等しく受けられるようにすること。生きがい作りや仲間作り、豊かな生活、健全な街づくりなどを推進して、北広島市における「情報化社会作り」及び「生活の豊かさの向上」に寄与することを目的とする。

NPO法人えにわ市民プラザ・アイル

非営利の市民活動団体や市民相互の情報交換や連携、その活動支援を通じて、市民の地域力向上と協働のまちづくりの推進を図ることを目的とする。平成19年4月より市民活動の拠点「えにわ市民プラザ・アイル」を設置し、運営にあたっている。

一般社団法人ちとせタウンネット

千歳市内において活動する市民及び団体などのネットワークを構築し、相互理解を図ると共に連携を強めその活動を更に活性化させることを目的とする。

ご当地訪問ツアー

札幌

2

3



札幌

中央区

あけぼのアート&コミュニティセンター

札幌市中央区南11条西9丁目4-1

Tel 011-511-6181 Fax 011-513-6182

受付時間 午前10時～午後6時 休館日 月曜・年末年始

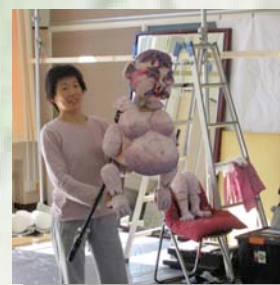


閉校となった小学校を、文化芸術を発信し地域にも開放された施設として札幌市が設置しNPOコンカリーニョが運営する。2階3階の元教室は長期利用団体向けの部屋となっている。1階の音楽室や図書室、調理室、体育館は時間貸しで誰もが利用できる。ツアー当日は人形劇を行う団体が、教室内で人形を製作していた。校舎南側のスペースでは『まちなか畑計画』と称して小さな市民農園が運営されている。1階には『給食堂bio(ビオ)』というコミュニティレストランも併設されており、こだわりの食材による料理は施設利用者のみならず、ご近所にも人気である。



参加者からのコメント

行政が、新しい文化を創造しようとする劇団などを育成しようとする、そのための集合アパート(?)をつくることを認めたということは、私にとっては目からうろこ、超画期的です。それを考えて提案したコンカリーニョさんの企画力と実行力は素晴らしいです。



清田区

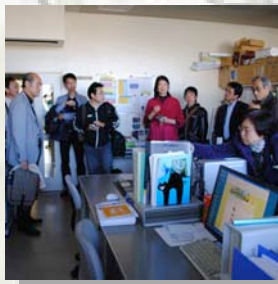
6

10

ご当地訪問ツアー



NPO法人北広島ITステーションが運営するこの施設は中央公民館内にあり、市民向けのパソコン講習なども行っている。壁には大きなキーボードの絵や、マウスでのクリックの仕方を説明した絵が描かれた模造紙が貼られていた。この地域連携コミュニティ再生講座がきっかけとなり江別のえべつ協働ねっとわーくの協力のもと、近々インターネットテレビを始めるとのことである。



北広島ITステーション

北広島市朝日町5丁目1 中央公民館内
Tel 011-376-7955
開館時間 火曜日～土曜日 午前9時～午後5時



参加者からのコメント

「場」を提供するだけが、中間支援ではない！人と人、人とマチを結ぶのは、いまやITだ！狭い場所だからと、謙虚に仰っていたが、世界中に情報とネットワークを広げていこうとする大きな大きな場をもった団体でした。インターネットテレビに出演するのを楽しみにしています。

北広島

北広島

北広島

これまでのあゆみ

地域連携コミュニティ再生講座とは？

財団法人北海道地域活動振興協会からの助成のもと、石狩市・札幌市・江別市・北広島市・恵庭市・千歳市の6都市の市民活動団体が、各地でコミュニティ再生のために行う活動です。年に一回、全体フォーラムを開いて、各都市が集まり、『場』のありかたや、ネットワークの方法などを学びあいます。2007年度から始まり、既に3回の全体フォーラムが開かれました。



第1回全体フォーラム

2008年3月16日 於：札幌・コンカリーニョ

初めて6団体が一堂に会しました。
各団体の紹介や一年の活動報告をしました。

第2回全体フォーラム

2008年11月29日 於：札幌・コンカリーニョ

各団体の年表をつくり同じ時間軸でお互いを知りました。そして大きな地図の上で連携をイメージしてみました。ここで作られた大きな地図は次回にも、そして今回にも登場しています。



第3回全体フォーラム

2010年1月30日 於：札幌・コンカリーニョ

各団体の活動報告の後、そもそも“連携”とはどういうものか考えました。その後前回の大地図をスクリーンにしてNPOの連携の様子を地図に投射しました。最後の座談会で、次は川くだりや各地の視察ツアー合宿などをやろうということになりました。

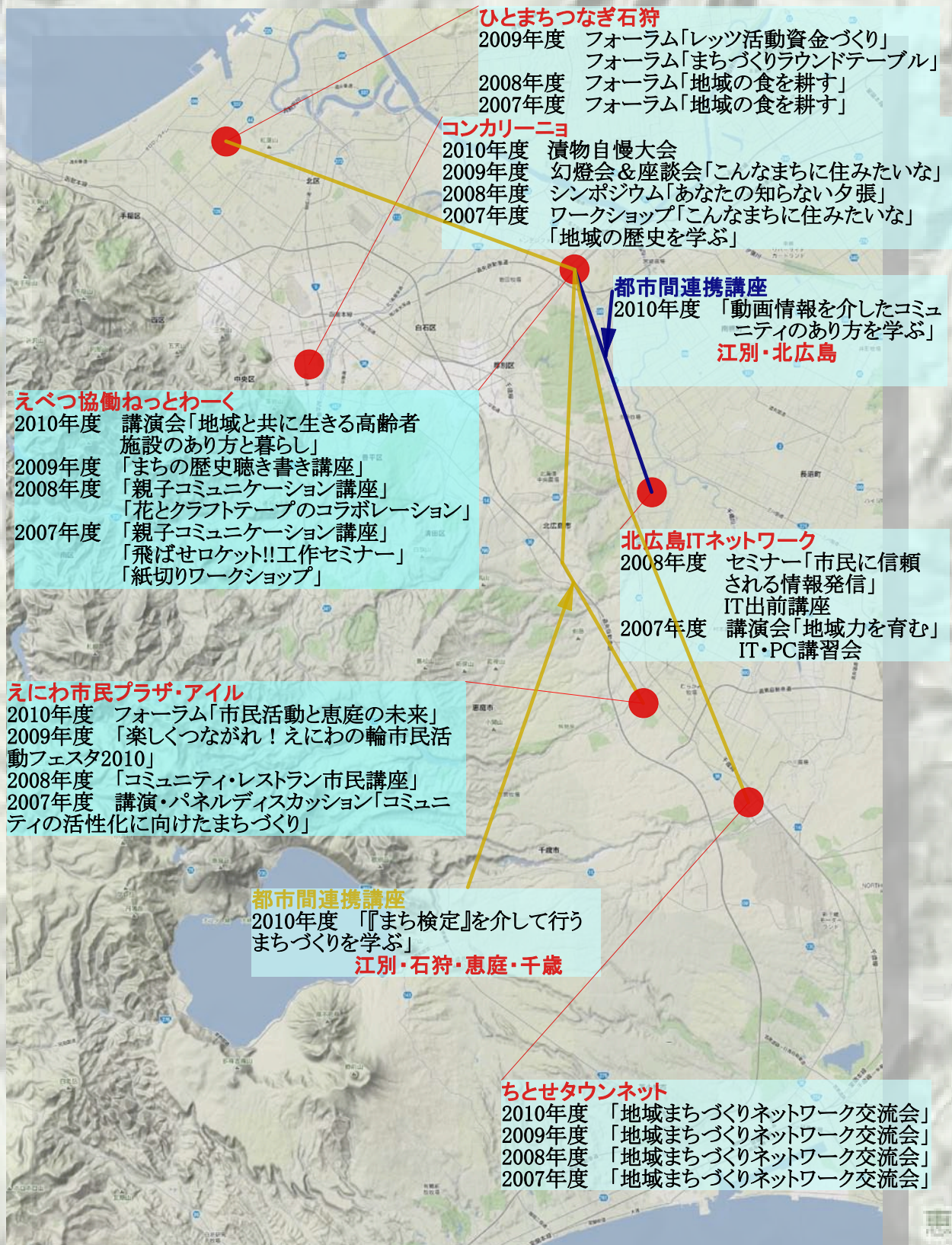
2010年7月有志で
石狩川川くだり



そしていよいよ
ツアー&合宿へ！

参加団体の活動

各団体、各地で様々な活動を行っていますが、ここでは財団法人北海道地域活動振興協会の助成による事業をピックアップしてみました。



参加者の感想

「まちをつくる」フォーラム

今回のフォーラムの最初に6市全てのセンターを見学させていただいたとき、各市の活動状況を実際に目で見てその活動を肌で感じることができ、これからの連携のあり様を思い描く事が出来ました。特に石狩における「地域と密着した活動」にとっても感銘を受けました。市民活動の基本を思い出し、原点を大切にしなければならないとあらためて感じました。

また、ミナクルにおけるフォーラムでは、意見交換が行われことは勿論の事、お越しになった多くの市民に対し、連携の必要性をお伝え出来た事はとても有意義だったと考えます。市民活動においては連携の必要性がよく言われておりますが、結局は「自分達の活動をサポートしてくれる人たちが欲しい」だけのことも多く、本当の意味での連携を、多くの方々と一緒に考えていける第一歩となったと感じました。

そして何と言っても翌日に行われたミーティングにおいて、6市連携の組織「アクティブ・アクティブ」が立ち上がった事も大きな躍進に繋がる事でしょう。これから皆さんとともにこの団体をゆっくり育てていき、その活動の実績をそれぞれのまちにフィードバックしていく事で、きっとまちづくりに貢献していけるものと期待しています。

ちとセタウンネット 代表理事 村中 敬雄

ここに参加していただいている各団体は、それぞれ独自の活動を日々営んでいる団体です。しかし、それぞれが抱えている課題の底にあるものは一緒なのではないかと常々思い続けておりました。そのような思いから、北海道地域活動振興協会の葛西氏のご協力もあり、『地域連携コミュニティ再生講座』という企画が生まれました。皆様方のご協力もあり、この「共同事業」も回を重ねる毎に成長し、今回このような形になったのは感慨ひとしおでございます。また今後もさらに発展しそうな予感、いや実感を持って終えることができたのも素晴らしいと思います。今後がますます楽しみです。

NPOえべつ協働ねっとわーく 理事長
NPOコンカリーニョ 理事 白鳥 健志

第二回の全体フォーラムの企画から参加させて頂いています。企画に参加した当初は、連携、の具体的なイメージがなかなかつきませんでした。ワークショップで、連携とは？を皆で考える事でイメージが具体的となってきました。今回は、それを実践する事でよりカラダで感じる事ができました。車での移動ではありますが、リアルな一本の線がつながって行くのを目の当たりにしました。その線は大きな樹木の幹の様にも見え、その幹には、いくつもの枝も見えた様に思います。これからは、この枝が、さらに広がって行くのであろうと思います。インターネットTVの企画の話もあり、リアルに動かずとも、ネットワークの連携もどんどん広がりそうです。そんな枝を広げつつ、太くなった幹を拠り所に次回のWS、合宿？を楽しみにしたいと思います。

藤野 敬史

ご当地訪問ツアー



えにわ市民プラザ・アイル 恵庭

恵庭市本町110番地
TEL 0123-39-3355 FAX 0123-39-3356
開館時間 午前10時から午後4時 火曜・祝日休館

旧市街地の中心地にあるコンビニエンスストアを改修した施設である。ここでは洞爺湖にあるウインザーホテルと同じ豆で挽いたこだわりのコーヒーを飲むことができる。元々は市が運営する市民情報サロンであったが財政難により閉鎖。その後市民が運営する現在の市民プラザになってからは、人件費は大幅に下がったにも関わらず利用者数は大幅にアップしている。

施設内では手作り品やリサイクル品などを集めたコーナーや各種展示コーナーもある。講演会などの企画はもちろんのこと、プロ・アマ、多ジャンルの音楽ライブや映画上映なども行われている。

参加者からのコメント

「市民のため」のスペースがとてもあったかい。買い物帰りに、用がなくてもぶらりと、コーヒーのみに。そんな目的で使われるフリースペースは、私たちの目標です。ちょっと昭和のにおいがして、緩やかに時間が流れているようで、本当にくつろげます。アイルの皆さんのお人柄が影響しているのだと思います。

千歳市

恵庭

恵庭市

市営牧場

11

15

16

10

12

14

16

ご当地訪問ツアー

千歳



駅前通りに面した街の中心地に立地する4階建ての大きな建物の4階にミナクールはある。
大きなワンフロアの中に、交流スペース、作業コーナー、情報コーナーなどがあり、市民活動を支援するための体制が整っている。
H18年に建てられたこの建物はもともと公設公営の会館であったが、H20年から市民活動団体が運営するようになった。現在は一般社団法人ちとせタウンネットが運営する。市民のネットワークづくりを目指す同団体では、毎年ミナクールで市内の異分野市民団体を一堂に集めた『交流会』を開催している。

千歳

千歳市民活動センター・ミナクール

千歳市千代田町5丁目7番地1 千歳市民ギャラリー4階
Tel 0123-24-0847 Fax 0123-24-0900
開館時間: 午前9時—午後21時 休館日: 月曜(祝日の場合は翌日) 毎月最終金曜 年末年始

参加者からのコメント

エレベーターを降り、入口をくぐると、ひろ～い空間が広がっていました。建物も設備機器も新しくてきれいでうらやましい限りです。

でも、一番うらやましいのは、若いスタッフさんがたくさんいることです。もうそれだけで普段から活気があるんだろうなあと想像してしまいます。



講演会

今回も第2回全体フォーラムから使っている巨大地図を用いて、ご当地訪問ツアーで皆で動いた軌跡を地図の上に記しました。石狩から始まり、支笏湖畔まで続いたこの日の軌跡をオレンジ色のラインで示したのですが、「地域連携コミュニティ再生講座」に参加されている6団体が育んできた3年間の「つながり」がなければ引かれることのないラインでした。記録しなければすぐに消えてしまうこのラインは、市民や市民団体のつながりを象徴しているかのようです。市民や市民団体のつながりは多くの場合、法的に根拠付けられておらず、組織的には不安定で、財政的に弱いものです。企業や行政団体は制度的、組織的、財政的な裏づけを持って事に当たり、その上につながりを作っています。したがってそのつながりは、できあがった物や契約書や報告書などにしっかりと記録されます。一方で市民が日々地域で紡いでいるつながりが記録されることはほとんどないでしょう。しかしもし日々のつながりがラインに引かれるなら、それは無数のラインとして地図の上に現れることでしょう。誰もが日々行い、求め、その中で生きている、これら無数のつながりを意識し、強く豊かにすることはどのようにしたらできるのでしょうか。「つながり」の根拠を、制度や組織やお金ではなく（これらも大切なのですが）、「つながり」そのものに求める、つまり、「つながり」を根拠にしてさらに「つながり」を作り「つながり」を強化し豊富化する、そのような回路が必要なのではないか… 大きな地図の上に時間やスナップ写真とともに引かれたラインを参加者の皆さんと確かめながら、そのようなお話をしました。



パネルディスカッション



講演会に引き続き、各団体からの代表者によるパネルディスカッションが行われ、『つながり』に関する意見やエピソードが話されました。

まずコメンテーターの白鳥氏から「つながり」と言っても、個人と個人のつながり方、団体と団体のつながり方、個人と団体のつながり方にはそれぞれノウハウがあるのではないか」という意見が出されました。

札幌・コンカリーニョ遠藤氏からは「繋がってみてからその意味がわかることがよくあるので、とりあえず一歩踏み出して見ましょう」という話が出ました。江別・協働ねっとわーくの橋本氏からは、「『ひまわり迷路』が実現したのは一農家のつぶやきが始まりだった」というエピソードを語ってもらいました。北広島・ITステーションの酒井氏からは「この『地域連携コミュニティ再生講座』がきっかけとなり、江別と連携してインターネットテレビを始めた」という話、石狩・ひとまちつなぎ石狩の羽田氏からは地域食堂きづなの設立運営を通して「(一連の活動は)大変だけど、やってみると楽しいよ。」という話、恵庭・えにわ市民プラザアイルの泉谷氏は、まちづくりフォーラムから都市と農村をつなげる事業が繋がった経験から「次の事業につなげることが市民活動にとって大事」というコメント、千歳ミナクルの松隈氏からは「人と人が会ったり話したりといった、ちょっとしたことが『連携』になっていく」という意見が出されました。

支笏湖畔



最後に アドバイザーの土肥氏から「目に見えないかもしれないけど、既に無数のつながりが実は存在している。個人とか団体とかいう枠を超えてつながっているのが市民団体」というコメントを頂きました。

コーディネーターの村中氏は、白鳥氏との出会いのエピソードを交えながら、「人との出会いを大切にしたい。まず一緒に行動してみましょう。」と話を締めました。

その後、会場から「行政・NPO・町内会でのつながりの作り方」について質疑がありました。土肥氏からは「町内会のような古いコミュニティは諸々難しい状況にあるが、色々な人、特に弱い立場の人の意見を聞いてみるのがいいのではないか」という意見、白鳥氏からはNPOについて「NPOは現代的なつながりの形、法人化することで社会的信頼を得られる。NPOは“ミッション”を持つ組織であるのが特徴。つながりの作り方は、(相手の)悪いところは大目に見て、いいところを見ましょう」というアドバイスを頂きました。

合宿ミーティング



支笏湖YHのHPより



ご当地訪問ツアー、そして千歳での講演会・パネルディスカッションが終了した後、一行は支笏湖畔に佇む支笏湖ユースホステルに移動しました。

ちなみにこのユースホステル旧館は、フランクロイドライトの事務所で働いた、北海道を代表する建築家・田上義也の設計によるものです。当日の晩はジンギスカンに舌鼓をうちながら、打ち上げが行われ、翌朝にはミーティングが行われました。

ミーティングの場では、まず今後もこの『地域連携コミュニティ再生講座』を続けていくということが確認されました。

前回の全体フォーラムの座談会で、『アクティブ・アクティブ』という行動するグループの結成が宣言されましたが、今回、6団体が全て揃った席で改めて、ゆるやかな運営組織としての市民活動広域ネットワーク『アクティブ・アクティブ』をつくることが決められました。

各団体は、地元の活動団体の中間組織的な性格を持っており、この『アクティブ・アクティブ』はそのような中間組織の“共同組合”のような性格を持ち、各団体の活動を相互に補完・支援するための組織になります。

代表は白鳥氏。事務局は原則6団体間の輪番制で来年度は千歳が担当します。実働の企画・編集作業チームは遠藤(札幌)・竹田(千歳)・橋本(江別)が担当します。

具体的な行動内容として各団体間の人事交流などの案も出たが、とりあえず来年度はインターネットテレビを活用した各団体の活動の様子を発信してみることにしました。やがて活動のノウハウが蓄積されれば、本などにまとめてはどうかというような構想も出ました。

また今後はこの組織で全体フォーラムを行うものとするようになりました。

お昼過ぎにはミーティングも終了し、全プログラムは終了しました。

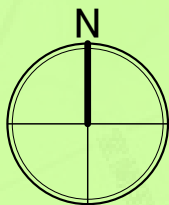


さいごに

「つながりは行動だ！」昨年度の全体フォーラムで提起されたアイデアが、この報告書に示されたような形で実践されたことは、本当に稀有なことなのではないでしょうか。よくよく考えてみれば、どの団体も当面の仕事や業務からは必要とされない「つながり」を確かめ、作るために行動した短い旅だったのではないかと思います。しかしその短い旅にいたるにはそれぞれの活動を共有しようとした3年間があり、これからも経験を共有しようとするお互いの意思があります。だから記録された軌跡はわずか8時間程の短い旅なのですが、その背後には多くの活動があり、これからは素晴らしい活動があり、それらが素敵なつながりをたくさん作ってゆくことになるでしょう。私が「地域連携コミュニティ再生講座」に参加するようになって3年が経ちますが、この講座からは、市民の「つながり」は新しい局面に入っていることを強く教えられます。それは、現在社会のあらゆるところで求められている失われた「つながり」の回復のさらに先に、これまでには考えられもしなかった新しい市民、市民団体の「つながり」を創造する必要があることです。すなわち多くの活動分野や多くの地域にまたがるつながりを市民自身が作り社会をリードすることが求められており、それが具体的にイメージできるようになっているということです。来年度以降、「地域連携コミュニティ再生講座」および「アクティブ・アクティブ」がどのような展開を見せるのか、昨年までにもまして楽しみになってきました。最後になりますが、このような機会を与えていただいた(財)北海道地域活動振興協会に感謝いたします。

東京工業大学 土肥真人

つながりマップ 2010



S:1/57600

0km

5km

地域連携コミュニティ再生講座 全体フォーラム報告書 2011年1月作成

<制作>

遠藤 淳 一級建築士事務所 黎明座・NPO法人コンカリーニョ
土肥 真人 東京工業大学 社会工学専攻
藤野 敬史 アトリエ・ハル

<連絡先>

札幌市中央区北1条西15丁目大通ハイム811

一級建築士事務所 黎明座(遠藤)

TEL 011-598-0001 leimeiza@wa2.so-net.ne.jp